

保健師職能委員会たより

Vol.1

栃木県保健師職能委員は10名で構成され、所属は保健所、市町、精神保健福祉センター、こども発達センター、そして産業や教育機関の保健師であり、他県に比べても充実のメンバーです。委員会活動を通して実感するのは「今までの業務経験以外で知らないこと」が沢山あり、視野が広がることです。そして、コロナ禍だからこそ、少し立ち止まり、保健師の働く環境や課題などを考えることは貴重な時間だと思っております。

今後も、研修会、情報の発信、調査研究など皆様のお力添えをいただきながら活動してまいりますので、ご支援、ご協力をお願いいたします。

(保健師職能委員長 田沼かおり)

研修会のご案内

保健指導ミーティング！～気軽にできる事例検討会でスキルアップ～

1 開催日時 令和4年12月17日(土) 13時～16時

2 場所 とちぎ健康の森 大会議室

宇都宮市駒生町3337-1 TEL:028-625-6141

3 内容

(1)実践力Up事例検討会を体験してみよう！

- ・事例は参加者の実際の事例から選定します。
- ・ホワイトボードに記入しながら気軽に意見交換。
- ・ファシリテーターと板書は保健師職能委員が行いますので、リラックスして参加できます。

(2)講義で学ぼう！

テーマ：「メンタルヘルス上の課題を有する事例への支援について」

～保健指導のスキルを上げるために～

講師：自治医科大学 看護学部 教授 永井 優子 先生

4 受講料 会員 1,375円 非会員 2,750円

5 申し込み 事例提出(新任期のみ)をお願いします。

令和4年11月15日必着 看護協会ホームページからダウンロード

6 主催 栃木県看護協会 保健師職能委員会

ニュース～足利市より～

「災害時における健康班保健活動マニュアル」の策定

足利市では、令和元年10月の台風19号の風水害及び令和3年2月の足利西宮林野火災の被災経験を活かし、健康班の初動体制を整備した「災害時における健康班保健師活動マニュアル」を改訂しました。

改定版では、①健康班保健師の指揮命令系統の明確化②避難所における円滑な保健活動の体制整備③適切な救護物品の整備や配置により速やかに活動が実践できるように対応しました。



令和4年度保健師職能集会研修会報告

日時：令和4年6月25日

テーマ「コロナ感染症対策～これまでの公衆衛生現場におけるコロナ対策とこれから～」

講師：自治医科大学看護学部長 春山早苗氏

○保健師は健康危機下（コロナ禍）にある人々の健康を守る役割がある

現場では、予想を上回る陽性者の急速な増加により新たな健康課題が発生した。以下の4つの視点をもつことが大切。①社会防衛のみならず、個人防衛の視点 ②感染者の健康不安に寄り添う ③情報の発信とリスクコミュニケーション ④庁内で感染者・家族が置かれている状況を共有（首長にも届くように）

ある市町の保健師は、学校で感染者が出た際にパニックや偏見・差別が生じないよう、地元医師会の協力を得て保護者に対する対応や感染対策のために中断した方がよい学校行事や活動について話合うことを提案する等、感染者や家族の人権を衛る活動を実施。

○コロナ対策において、すべての保健師が必要な業務とは

①積極的疫学調査 ②予防策 ③二次感染予防のための保健指導 ④集団施設を対象とした感染症予防のための保健指導 ⑤リスクコミュニケーション等。それを遂行するには自身の健康管理能力も大切。

○レジリエントな（回復力に富んだ）組織づくりをめざす

- 組織の課題は「業務に追われ活動体制の見直しができず、最初に決めた活動体制を変えられない」こと。
- 健康危機体制をPDCAサイクルでチェックが必要。

○ウイズコロナ・ポストコロナにおける保健活動

- これまで以上に健康管理能力/セルフケア力を高める働きかけ。（生活習慣病予防＋感染症対策）
- 市町と保健所の協働をめざし、管理的立場の保健師の団結が鍵。全体像を捉える努力を。
- これまでの活動方法にICTを活用し、ハイブリットな保健師活動。タイムリーなWeb会議など。

○産業保健師

企業での感染対策はまだこれから。
コロナ対応時は上司を巻き込みフロー図を作成するなど試みた。在宅ワークでの健康被害もみられており対策が必要。
また、想定外のことは一人職場の保健師だけでは対応が難しく、地域連携が必要。

○産業保健師

行政保健師の大変さを理解できた。
一人職場の保健師は情報を得る手段がわからず、感染症発生時の対応や自身の感染への不安を訴える保健師もいる。

○教育現場

学校もひとつのコミュニティと捉えると保健活動としての感染症対策は同じ。全体を見渡す人が必要。
学生の身近にいる教員と役割分担をしながら実践した。

○保健所保健師

コロナ後に入庁した保健師は、通常業務を経験しておらず、現任教育が必要だと痛感。
市町保健師の応援により、協働してコロナ対策を実施し、それぞれが健康課題を見いだすことができました。
振り返りが必要だと理解しているが疲労がたまっているのが現状。

受講者の声

看護協会入会をお待ちしています！

看護協会では、「保健師の人材確保」や「保健師のキャリア形成支援」などの事業を展開しています。

最近ではコロナ禍における保健師の役割が認識され、令和3年度から2年で約900人の増員がかないました。

職域を超えた保健師同士の交流はもちろん、看護師・助産師とのネットワークも広がります。入会をお待ちしております。

栃木県看護協会会員数(2022年8月) **12,244人** (保健師495人)

入会に関する問い合わせ

TEL : 028-625-6141

(月～金 9:00～17:00)

FAX : 028-625-8988

E-mail : info@t-kango.or.jp